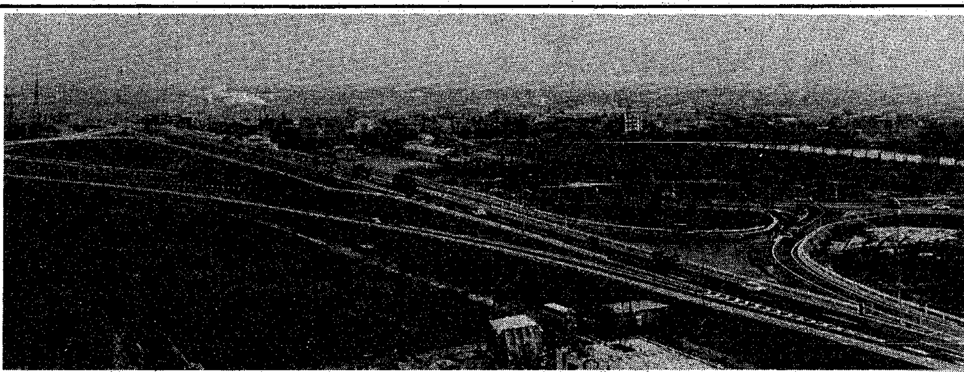


効果発揮二本のバイパス

新潟・亀田バイパスが全線開通

待望の新潟バイパスと亀田バイパスが完成、さる十一月二十二日新潟大橋で関通式が行なわれ、この日から市内の大動脈として誕生。交通渋滞の緩和に大きな役割りを果すことになりました。

新潟バイパスは、すでに海老ケ瀬～紫竹山間が開通していましたが、このほど開通したのは紫竹山から国道八号線の黒埼町山田間の六・一㌔です。

また、亀田バイパスは西蒲・亀田町鵜ノ子から新潟市紫竹山間の四・一㌔です。

両バイパスは、新潟市の流通と交通混雑の緩和をねらいとして建設されたものです。これまでの交通の混雑ぶりを見ますと、ことに市街地に導く根幹路線、泰平橋から老ケ瀬にいたる国道七号線、石山から亀田にかけての四十九号線、八号線の帝石橋付近、また、百十六号線や東港線のラッシュ時は大変なものです。

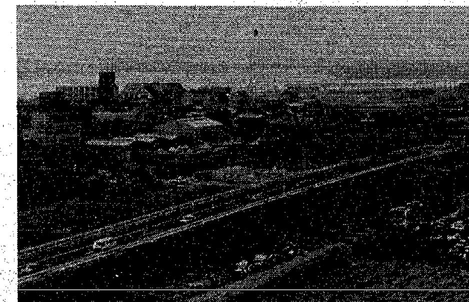
新潟バイパス（紫竹山～海老ケ瀬間）の実績を見ますと、七号線の海老ケ瀬付近の交通量は一日約二万台から一万台に減りました。

これからは亀田バイパス、新潟バイパスの全線開通により帝石橋付近でも四十九号線においても交通量が半分に落ちることが見込まれます。

時間的にも、これまで市内を通って三十分もかかっていた国道七・八号線の連絡が、半分の十五分に短縮されていますし、国道四十九号線の新潟－亀田間も二十五分かかっていたものが十分に短縮されています。

ともに二車線ですが、新潟バイパスは五十一年度に、亀田バイパスは五十二年に、それぞれ四車線になります。さらに新潟バイパスは将来は交通量を考慮して六車線化されることになります。

今回立体化されたインターチェンジは姥ケ山、紫竹山、桜木町の三か所ですが、昭和五十二年度までには全部立体化される計画です。



新潟バイパス（下）と亀田バイパスが交差する紫竹山インターチェンジ（上）

年末の郵便物はお早く

年末は郵便物が多く出ます。非常に混み合いますので、遅くとも次の日までにお出しください。

▼小包み▲
十二月十五日までに

▼年賀状▲
十二月二十二日までに

見てますか，聞いてますか？

標準小売り価格

テレビ・ラジオで毎日放送

★放送時間★

NHKテレビ＝月～土曜，午前11時57分から

BSNテレビ＝月～金曜，午後2時13分から，土曜は午後2時58分から

NHKラジオ＝午後1時30分～2時までの間

今月の発表品目

―1kg当りの数量―

品目	大きさ	数量		内容
だいこん	M	1	本	1本約1.5kg
はくさい	中玉	½	個	1個約2kg
きゃべつ	中玉	1	個	1個約1.2kg
ほうれんそう	M	2.5	把	1把400g
ねぎ	L	約10	本	1本約100g
たまねぎ	M	約6～7	個	1個約150g
みかん	M	約10	個	1個約100g
りんご(国光)	M	約6～7	個	1個約150g

※標準小売価格についてご意見、ご要望がありましたら生活課へ

農地被買収者給付金

受け取ってない方はお早めに取扱店へ

農地被買収者給付金（国債）の請求手続をし、交付の通知を受けられた方で、まだ受け取っていない方は少なくありません。

その方々の国債は、請求された際に指定した国債交付取扱店（日本銀行本・支店・同代理店、国債代理店）に保管されています。

次のものを持ってお早めに受け取りに行ってください。

▼農地被買収者給付金認定通知書

▼農地被買収者国庫債券交付通知書（大蔵省財務局（部）発行のもの）

▼農地被買収者給付金請求の際に使用した印鑑

なお、お問合わせについては、もよりの大蔵省財務局（部）または県農地部、農地管理課におたずねください。

所得税の控除に

国民年金の掛金

ことしの1月1日から12月31日までの期間中にお支払いになった国民年金保険料は所得税の控除対象になります。

給与所得者の方は12月に行なわれる年末調整の際に必ず勤務先で控除の手続きをしてください。

なお、事業所得者および確定申告をされる場合の控除手続きは3月の確定申告時に行なってください。

控除される額は表のとおり保険料の納入額（加入時によってそれぞれ違っています。

控除される保険料の額

保険料の区分		控除額	期間
定額保険料のみ掛けた人	月額 550円	6,600円	1年
定額保険料と附加保険料を掛けた人（所得比例）	〃 900円	10,800円	1年
5年年金保険料を掛けた人	〃 750円	9,000円	1年

※過年度（過去）の保険料を納入した場合は納入額が控除額となります。

※納入証明書は申告の際、添付しなくてもよいことになっておりますので発行いたしません。

市長に手紙から

ユニークな養護学校を

〈問い〉心身障害児のために養護学校がほしいという声は各方面にあがっております。一部には新大附属小学校特殊学級の養護学校化を望む意見もあるといわれますが、根本的に性質が違うのですから無理でしょう。

単に、知恵遅れの子供だけを対象にしたものではなく、弱視、情緒障害、難聴、重複障害、精神薄弱など総合的でユニークなものを望みます。

とりあえず既存施設を充実

〈お答え〉難聴、情緒障害などいわゆる特殊教育のための施設は、すべての人々が平等でじゅうぶんな教育を受けるということからしても、対象者の多少にかかわらず、市にはぜひとも必要な施設だと思います。

しかし、現在の地方自治体は国の政策に大きく左右される面があり、また、財政的な点からしても市独自の事業はなかなか実施できない実情です。

たとえば、国では養護学校の設置を都道府県に義務づけており、県が設置する場合はかなり補助金を出してくれます。

しかし、市が単独で設置することになりますと、施設の建築費、維持費など莫大な金を全額市が負担しなければなりません。

また、専門教育を受けた教諭も相当数必要であり、この点からしても市が、いますぐに養護学校を設置できない実情です。

そのため、市としては国や県の特殊教育に対する施策を考慮しながら、今後のあり方をじゅうぶん検討したいと考えています。

当面の対策としましては、現在、小・中学校に設置されている難聴、言語障害、病虚弱児などの特殊学級をさらに充実させる予定です。

せっかくのご要望に添えず、まことに申しわけないとは思いますが、事情ご賢察のうえ、ご理解いただきたいと思います。

精薄者の授産施設

7月に誕生した青松学園

～生徒を募集～

精神薄弱者の授産施設「青松学園」では、いま生徒を募集しています。

この施設は、働く力を持ちながら現在のところでは就職が困難な人のために授産施設として上新栄町に、ことし七月開園したもので、次にあてはまる人が入園できます。

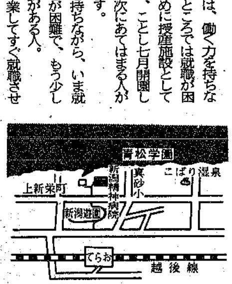
▼働く力を持ちながら、いま就職することが困難で、もう少し訓練の必要がある人。

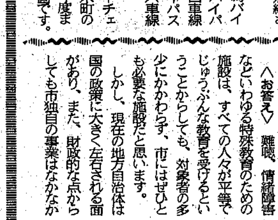
▼中学を卒業してすぐ就職させるのは不安で、もう一・二年訓練したい人。

▼就職したが、うまくいかず転職、離職などで再就職が必要な人。

▼家庭にだけ置くよりも、みんなといっしょに仕事をさせることによって生活意欲を向上させたい。

▼集団の中で生活訓練をおもにやり徐々に作業態度を身につけさせたい。





施設の内容

▼敷地　二万三百四十四平方㍍

▼建物　平家建て、二百八十四平方㍍

▼定員　二十人

▼授産種目　農耕、園芸、紙器製作、手動式印刷、結織、手芸など。

▼昼食　完全給食

▼費用　原則として公費負担。

▼指導時間　午前九時～午後四時（土曜は午後零時半終了）

お問合わせ

在宅の精薄者をおもちの方でこの施設に入園希望の方や詳しいことを知りたい方は、市福祉事務所か青松学園（☎69－二〇三九番）へおたずねください。

入所希望者を募集

コロニー白岩の里

《精神薄弱者授産施設》

★募集人員　中・軽度の精神薄弱者（児）100人（男女各50人）

★対象者　原則として中学校3年に該当する年齢以上の精神薄弱者（児）ただし昭和49年4月1日で満15歳に達する者を含みます。

《重度精神薄弱児施設》

★募集人員　重度の精神薄弱児50人（男女各25人）

★対象者　年齢6歳以上18歳未満

入所希望者は、市福祉課へ申し込んでください。